

さくら新聞

～笑顔de共育で～

平成30年12月1日発行
 石神井町さくら保育園
 〒177-0041
 練馬区石神井町7-25-45
 TEL 3997-0070
 FAX 3997-0972



主題

- ・楽しい師走
- 今月の保育のねらい
- ・みんなで楽しい集いを準備し参加する
- ・師走の雰囲気を楽しむ



2018年 ありがとうございま

つかの間の美しい紅葉からポインセチアの紅色がびったりりの冬の入り口へと季節は移り2018年師走を迎えました。朝晩の気温も下がり、「この冬一番の〇〇」というニュースを聞く度に季節の変化を肌で感じます。そのような感覚を子どもたちにも五感で味わってほしいと思います。

さて、先月は『さくらエイド』にご協力いただきありがとうございます。

「今年もまた穴掘り…？」というお気持ちになった方もいらしたと思います。でも、そのお力添えのお陰で前庭には素敵な砂場が出来上がり、0歳児の子どもたちのあそびが充実しています。本当に有難く感謝でいっぱいです。

これからのよりよい環境作りのためにどうかお力を貸してください。お願いします。



大きくなったね会のお知らせ

◆日時 12月7日(金)
9時20分

◆3歳児クラスから順に、クラスごとに行います。
※詳細は先月配布のプリントをご確認ください。

保育の質と保育者の資質

保育実践を語るとき常に話題となるのが**質の高い保育**や**保育士の資質**です。待機児童解消政策で、保育園の数を増やすことが優先されていますが、量よりも質を真っ先に考えられる保育の現場でありたいと思っています。

では、いったい質の高い保育とはどのような保育のことでしょうか？考えてみたいと思います。各クラスの指導計画の根っこにある『保育の質』は、一人ひとりの子どもが、どのような経験を積み重ねながら育っていくかという過程を大切にしているということ。さらに、一人ひとりの子どもの可能性や、能力を引き出すことができるような保育をめざし、豊かな経験を積み重ねていけるように配慮しています。

一方、職員の資質は？と考えてみますとこちらについても様々な考え方がありと思えますが、わたくしは、一人ひとりがそれぞれの専門性を生かして、子どもたちと真剣に向かい合うこと、子どもをプラスの目で見ることで、子どもの気持ちを受け止めること、子どもの気持を受け止めること「ねえねえ聞いて」と子ども

～さくらAEDを繋ぎえて～
さくらAEDのご協力、ありがとうございました

前庭は…
砂場が大きくなりました
子どもたちが遊ぶときに、大人と一緒に楽しんでいます

楽しい園庭は…
タイヤを埋めこみました
よじ登って高くジャンプしたり、3つのタイヤを渡ったりして遊んでいます

園庭は…
みんなの家をリニューアル!!
現在お休みの中…
いらしゃいませ!!
広くなって、使い易くなりました
家の中に入ってごあそびを楽しいです

12月 行事予定

日	曜日	内容
6	木	委託園観劇会(5歳児)
7	金	大きくなったね会(3～5歳児)
11	火	身体計測(乳児) おはなし会
12	水	身体計測(幼児)
13	木	父母の会主催の観劇会
14	金	おじいちゃん・おばあちゃん お招き会(5歳児)
18	火	年末お楽しみ会
19	水	避難訓練
20	木	アートくらぶ(4歳児)
21	金	アートくらぶ(3歳児) 0歳児健診
22	土	園舎清掃
27	木	もちつき

13・20日⇒絵本の貸し出し日
 12・27日⇒さくらんぼくらぶ
 12・26日⇒『ふれあいランチ』提供日
 (家庭的保育者受託児対象)

※7・18日⇒写真撮影日



平成30年12月28日 保育終了日
 平成31年1月4日 保育開始日

◆見立てあそびが増え、ままごとのあそびの幅も広がってきた時期のことである。
 Mが、ままごとの具材として用意している白いお手玉を手持っていた。それを友だちの顔の前に差し出すと友だちはお手玉をMの手から取るようにした。Mはその友だちの手を叩いた。近くで見えていた私は、「どうぞしてしているように見えたんじゃない？」とMに言った。すると今度は、私

に向かってお手玉を差し出してきた。その時、顔をよく見ると、口元がもぐもぐと動いていることに気が付いた。もしかするとMは、お手玉を渡して差し出しているのではないかと感じた。Mの手にお手玉が乗ったままの状態、私が口を近づけて食べる真似をする笑顔になった。
 言葉で自分の気持ちを伝えることがまだ難しい時期に、子どもと顔を合わせながら大人が気持ちを汲み取ることで、その子を知ろうとすることがとても大切だと感じることができた。

子どもを見るまなざしが
 確かなものになってきて
 保育者の資質が感じられ
 うれしく思います